送りがなプリント　はってん②（手紙の　なおし）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小6／手紙の　線の　ことば（5まいの　うち　③）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

送りがなの　まちがい　3しゅるい

あ	**送りすぎ** … 漢字が　読む　ところまで　ひらがなに　した	×思もう　→　○思う
い	**「しい」の「し」が　ない**	×美い　→　○美しい
う	**そのほかの　送りたりない** … ひらがなが　たりなくて　正しく　読めない	×考る　→　○考える

手紙の　線の　ことばを　ぜんぶ　しらべて、表に　○か　×を　書こう。
まちがいの　かずは　かいて　ありません。×は　なおして、記号（あ・い・う）も　書こう。

小林先生へ

お元気ですか。ぼくたちの　町にも　春が　①訪ずれました。

そつぎょう式に　むけて、れんしゅうを　②重ねました。

先生は　いつも　③優しく、おわかれは　とても　④悲かったです。

休み時間は　校庭を　⑤走って　あそび、運動会は　⑥勝った。

こまっていた　下級生を　⑦助た　ことも　あります。

委員会の　しごとで　道具を　⑧片付けます。

図書室で　歴史の　本を　⑨読みました。中学校でも　えがおで　⑩過ごす　つもりです。

写真を　⑪届どけて　くれた　友だちへ、字を　⑫正く　かいて　おれいを　いいます。

あやかより

番号	○×	なおした　書き方 （×の　ときだけ）	記号 （あ・い・う）
①			
②			
③			
④			
⑤			
⑥			

番号	○×	なおした　書き方 （×の　ときだけ）	記号 （あ・い・う）
⑦			
⑧			
⑨			
⑩			
⑪			
⑫			

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「送りがな」のプリント一覧がひらきます

送りがなプリント　はってん②（手紙の　なおし）【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小6／手紙の　線の　ことば（5まいの　うち　③）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

送りがなの　まちがい　3しゅるい

あ	**送りすぎ** … 漢字が　読む　ところまで　ひらがなに　した	×思もう	→ ○思う
い	**「しい」の「し」が　ない**	×美い	→ ○美しい
う	**そのほかの　送りたりない** … ひらがなが　たりなくて　正しく　読めない	×考る	→ ○考える

手紙の　線の　ことばを　ぜんぶ　しらべて、表に　○か　×を　書こう。
まちがいの　かずは　かいて　ありません。×は　なおして、記号（あ・い・う）も　書こう。

小林先生へ

お元気ですか。ぼくたちの　町にも　春が　①~~訪ずれました~~（×→訪れました）。

そつぎょう式に　むけて、れんしゅうを　②重ねました。

先生は　いつも　③優しく、おわかれは　とても　④~~悲かった~~（×→悲しかった）です。

休み時間は　校庭を　⑤走って　あそび、運動会は　⑥勝った。

こまっていた　下級生を　⑦~~助た~~（×→助けた）　ことも　あります。

委員会の　しごとで　道具を　⑧片付けます。

図書室で　歴史の　本を　⑨読みました。中学校でも　えがおで　⑩過ごす　つもりです。

写真を　⑪~~届どけて~~（×→届けて）　くれた　友だちへ、字を　⑫~~正く~~（×→正しく）　かいて　おれいを　いいます。

あやかより

番号	○×	なおした　書き方（×の　ときだけ）	記号（あ・い・う）
①	×	訪れました	あ
②	○	（なおさない）	
③	○	（なおさない）	
④	×	悲しかった	い
⑤	○	（なおさない）	
⑥	○	（なおさない）	

番号	○×	なおした　書き方（×の　ときだけ）	記号（あ・い・う）
⑦	×	助けた	う
⑧	○	（なおさない）	
⑨	○	（なおさない）	
⑩	○	（なおさない）	
⑪	×	届けて	あ
⑫	×	正しく	い

つまずきやすいところ

訪ずれました・届どけて は 送りすぎの 例。重ねました・片付けます・読みました は 長く 見えても 正しい 書き方。
悲かった のように「しい」の「し」が ない まちがいは い に します（う ではなく）。
○の ことばを なおしたら その問は 誤答。なおしは 文の かたちの まま 書く（もとの 形に もどしたら 不可）。